

-----5月3日-----

今週のアウトルック (5/3 ~ 5/7)

煮え切らない展開が続いています。

ギリシャ問題やゴールドマンサックスの問題などにより、リスク回避傾向が強まっているという見方が一般的ですが、もう一段の下げ相場を演出して大きな利益を確保したいと考えている投機筋がまだまだたくさん存在する、と考えた方がより現状に近いように思います。格下げなどにより大きく売られる場面もありましたが、ファンダメンタルズの大きな変化などではなく、材料を利用して売り浴びせている、という見方が自然のように思います。

米国欧州などのマクロ指標は、景気回復を示唆するものが多くなっているように思います。状況的にはリスク志向がより強くなってもおかしくない時期のように思います。売り浴びせであまり下がらない相場になってくれば、投機筋の買い戻しから一気に円安に向かうターニングポイントが現れるのも時間の問題のような気がします。

ドル円はどうあっても95円以上にはしたくないという強い意志のようなものさえ感じています。ドル高を阻止する理由はまだまだあるようにも思いますが、何も起こらなければ95円を超えてしまう、という展開でドル高に向かう状況は近いようにも感じます。

ドル円の予想レンジは93円から95円です。

ユーロはギリシャ問題を理由に、売り浴びせにあう状況は続いています。ユーロドルをどうあっても1.3以下にもっていきたいという投機筋の目標レートが存在すら感じています。そろそろあきらめて買い戻しに走る投機筋が出てきてもおかしくない時期のようにも思います。ユーロ円は126円から128円のレジスタンスを超えられれば一気に円安傾向に拍車がかかると考えているのですが、その時期がいつごろなのかは難しいところのように思います。

ユーロ円の予想レンジは124円から128円です。

ポンド円は145円付近の強いレジスタンスに手間取っている感じです。ドル円が安定して、投機筋のユーロ売りが買い戻しに走れば、ポンド円も一気にこのレジスタンスを抜けられるように思うのですが、今週抜けられるかどうかは微妙な感じもします。

ポンド円の予想レンジは142円から146円です。

ギリシャ支援計画の具体的な対策が評価されれば、楽観的な見方が広がり一気に円安という展開も考えられるのですが、まだまだ先が読めない状況は続きそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。